しまし 議会だより

Shimashi Gikai

第88号

2026.11.15

議会だよりのバックナンバーはこちらから









『伊雑宮御田植祭』

磯部町

磯部の御神田（おみた）は、伊雑宮に伝わる歴史あるお田植祭です。磯部の9地区が7年に一度の輪番で役人（やくびと）を務めます。令和8年は下之郷地区が担当し、何度も稽古を重ねた太鼓や篠（ささら）、笛の演奏や舞を披露しました。

第３回定例会

令和７年度決算認定等を可決

【主な掲載内容】

定例会での主な審議 | 一般質問　市政のここを聞く！ | こんにちは志摩びとさん

9月 第3回定例会

Pickup!

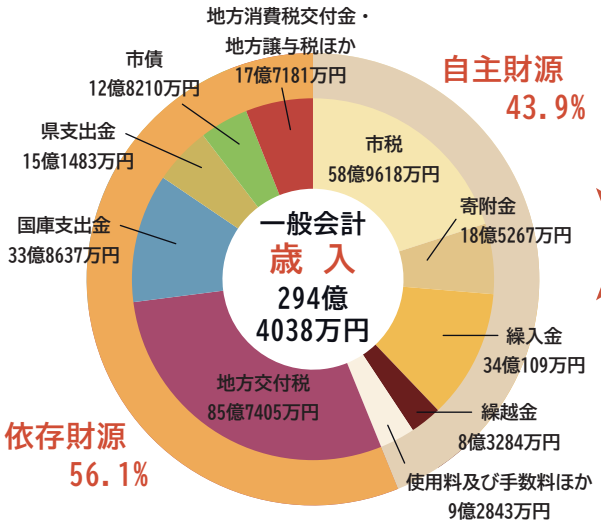


認定 令和７年度 一般会計歳入歳出決算額

市のお金がどのように使われたのか、令和７年度の一般会計を含む全８会計の決算を、付託された予算決算常任委員会で審査しました。
市政全般にわたり、委員から数多くの質疑がありました。
その中から、いくつかをお知らせします。

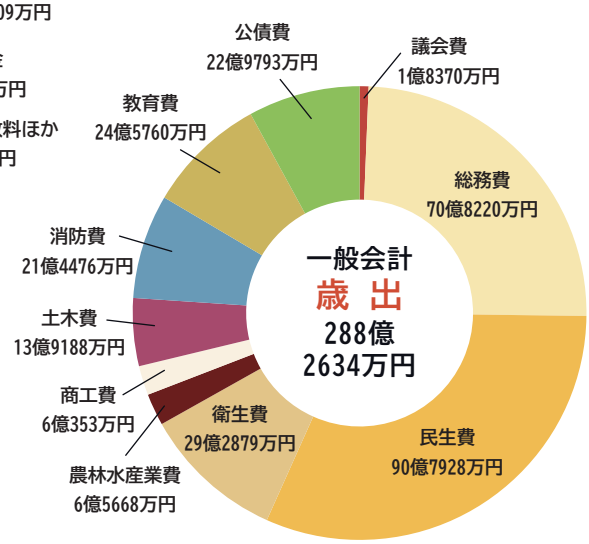
各動画はこちらから

YouTube「志摩市議会」チャンネルでは議会の録画映像を視聴できます。 YouTube



歳入 1.2%増

歳入決算額は約２９４億円となり、令和６年度より約３億円増加し、増減率は１．２%増となりました。



歳出 2.0%増

歳出決算額は約２８８億円となり、令和６年度より約５億円増加し、増減率は２．０%増となりました。

令和７年度　一般会計以外の会計の決算額

会計名			歳入決算額	（内一般会計繰入額）	歳出決算額
特別会計	国民健康保険特別会計		58億9061万円	（5億973万円）	57億7041万円
	後期高齢者医療特別会計		17億7411万円	（10億5206万円）	17億5078万円
	介護保険特別会計		77億9142万円	（12億371万円）	75億3998万円
	住宅新築資金等貸付事業特別会計		648万円	（0円）	529万円
企業会計	水道事業会計	収益的	17億3692万円	（ 2億7171万円）	15億1259万円
		資本的	4億7281万円	（　86万円）	11億9370万円
	下水道事業会計	収益的	5億2107万円	（ 2億3320万円）	4億8163万円
		資本的	4億9630万円	（　6437万円）	6億6340万円
	国民健康保険病院事業会計	収益的	17億493万円	（ 5億6476万円）	15億5478万円
		資本的	1億247万円	（ 5952万円）	1億4670万円

※数値は端数調整してあるため、合計が相違する場合があります。

※詳細は市ホームページ、主要施策の成果に関する説明書（令和７年度）をご確認ください。

会 期
9/1～9/30

認 定
8件

議 案
6件

その他
１３件

請 願
4件

発 議
4件

一般質問
１０人

定第1号認

将来の市民を増やすために

地方創生事業費

関係人口創出事業

保育園への通園・宿泊・体験コンテンツ等をパッケージ化し、地域で暮らしているような滞在を提供することで、地域と利用者の中長期的な関係性の創生を目指すプログラムを構築するためのものです。

問 保育園留学のウェブポータルサイトの中で、志摩市のページが紹介されています。そこに市の魅力あるコンテンツがあまり掲載されていないのは、このモニター実証の中で市の魅力あるコンテンツを体験させていなかったのですか。

答 参加者には、留学前の連絡や登園日に面談等を通じ、家族それぞれのニーズに合わせた体験コンテンツや本市の魅力あるスポットの提案や案内を行ってきました。

問 子育て世代が長期滞在しやすい宿泊先の確保に向けて、市内の空き家利活用や民間事業者との連携をどのように進めていくのか問います。

答 連携する地域団体が、現在空き家を改修し、お試し住宅の準備を進めています。令和8年度中に開設する予定で、令和9年度から本事業の宿泊先として選べるよう調整を進めたいと考えています。



地域の魅力を体感する、滞在型子育て支援を

定第1号認

ごみ集積所管理と地域課題解決

コミュニティ振興費

地域課題解決事業

自治会や地域のまちづくり団体等、多様な主体との協働により、5町それぞれの特性を十分に生かした、地域の活性化や魅力向上を図るものです。

問 各旧町への地域課題解決事業費約100万円のうち、約50％以上がごみ集積所関連に使われています。集積所の修繕は、本事業の対象とせず、別事業とし、市が支出すべきと考えますが市の見解を問います。

答 ごみ集積所の維持管理や老朽化対策は、多くの地域で切実な問題であり、生活環境を保全する取り組みとして、現状、本事業の対象として対応しています。

なお、ごみ集積所の修繕や管理負担のあり方については地域の現状を十分に踏まえ、事業の区分や制度の見直しを含め、しっかりと検討していきたいと考えており現在、協議調整を進めているところです。

問 自治会に加入していない市民も増える中、非会員を含むより広い市民に施策や支援が届くよう、配分や活用方法を見直す考えがあるか問います。

答 自治会の加入状況にかかわらず、地域課題への迅速な対応や地域の魅力づくりなど幅広く成果が還元される事業を選択し実施していきます。



生活環境を支えるごみ集積所

定号
認第1号

費用対効果の検証と窓口の再編

戸籍住民基本台帳費
マイナンバーカード普及促進事業

マイナンバーカード普及促進のため、民間事業者等の技術を活用したカード申請等のサポート業務委託を実施したものです。

問 令和7年度の決算を踏まえ、現在の申請支援事業についての費用対効果をどのように評価し、令和8年度以降どのように見直していくのか、市の考えを問います。

答 現在、マイナンバーカード申請支援業務を委託している「みんなのス窓」では、カードの普及に伴い利用実績が減少傾向にあります。そのため、これまでの実績と委託費用を精査し、費用対効果を見極めていきます。

その上で、令和8年度以降、事業のあり方については、マイナンバーカードによる市民の利便性向上や行政デジタル化への対応も考慮しつつ、事業の縮小や体制の見直しを含めて適切に判断していきます。

問 現在、郵便局では具体的にどこまでのマイナンバーカード関連業務ができますか。

答 マイナンバーカードの新規交付・更新の申請サポート、電子証明書の発行・更新、暗証番号の再設定ができます。



身近なサポートを

定号
認第1号

空き家、移住対策に希望のヒカリ

空き家等対策事業費
空き家利活用産官学連携事業

高等教育機関等と連携し、フィールドワークを通じて空き家等に関する地域課題の調査・分析を行います。その上で、地域の関係者と協力しながら、利活用可能な空き家の改修と管理運営手法等を提案し、空き家等の利活用モデルケースを創出するものです。

問 学生や地域住民からどのような具体的、画期的なアイデアが出され、改修計画にどう反映されましたか。

答 5回のワークショップから生まれた具体的なアイデアとしては、カフェ、展覧スペース、また多世代多目的にコミュニケーションを行える休憩場所といったものがありました。ワークショップで共有した地域の課題や魅力を踏まえて、大王埼灯台へのアクセスルート沿いの空き家をリノベーション対象として選定しました。アイデアを反映するために、オープンな交流スペースを設けることを改修設計に含めました。

問 改修工事完了後、移住対策拠点としてどのように活用され、維持管理費や運営費用をどう賄っていきますか。

答 空き家移住サポートセンターとして、波切地区で活動をしている一般社団法人が令和9年4月から運営を担う計画です。当施設は空き家移住の総合相談拠点としての機能を持たせるよう、現在計画を進めています。



空き家利活用で地域交流の場に

第3回定例会で可決

令和８年度　一般会計補正予算



補正額（第３号）　　**１億１８９７万８千円**

➡ 生後６ヵ月児から小学６年生までの子どもを対象に、インフルエンザワクチンの接種費用助成を実施するため等によるもの

予　算　総　額　　**２９８億５９９６万９千円**

補正第3号

本庁舎改修の必要性は

庁舎管理費
本庁舎改修事業
1832万6千円

市民の皆さんが公共料金の支払い等ができるよう利便性向上と、適正で効率的な公金の収納管理体制を維持していくために、市役所内に「金融機関の出張所」としての機能を持つ窓口環境を整備します。

問 実施設計業務の審議を行った6月定例会では、工事費も含め総額約2400万円となることは示されていませんでした。このことについて、見解を問います。

答 昨今の資材や労務費の高騰が続く中、6月定例会時点では不確かな概算となるため、議会に示すことは不適切であると判断しました。今回、必要最小限の工事要件を確定させた上で、直近の実勢価格を積算し、予算計上しました。

問 市民が受けられるサービスの変更点を問います。

答 窓口での現金取り扱いは、現在の市の公金収納のみから、県税、国税すべてが支払えるワンストップサービスとなります。また、行政DXの推進、市民サービスの向上、将来の持続可能な公金管理体制を構築するため、主体的かつ公平公正な手続きを経ていくことで、継続性のある市民サービスができると考えています。



県税・国税等公金収納の窓口ワンストップ化へ

補正第3号

身近で質の高い相談体制へ

債務負担行為補正
（地域生活支援事業費委託料（基幹相談支援センター事業））
1億2504万3千円

指定事業所への委託を通じ、障がい者・児やその家族の悩みに対し、相談支援専門員等が必要な情報提供や助言、福祉サービスの利用支援等、総合的な相談に応じます。また、障がい者相談支援体制の強化や専門員の資質向上等を支援します。

問 専門職不足が懸念される中、質の高い人材を安定して配置できる事業者をどのように見極めて選びますか。

答 プロポーザル方式による選定を行います。応募事業者からの提案書やヒアリング審査を通じて、「専門性の高い職員を配置できるか」「人材育成・職員の能力向上に向けた取り組みがどのように予定されているか」などを確認し、適切な人員確保を含めて審査を行います。

問 各地域に身近な相談拠点を求めるニーズを、どのように把握しましたか。

答 障害者計画の見直しに伴い実施したアンケート調査で把握しています。障害者手帳所持者に相談支援の充実に向けて何が必要か確認したところ、「身近な場所で相談できること」と答えた人が全体の46・5％と最も多い結果となっています。



身近で信頼できる相談支援体制の構築を

常任委員会の審査から

委員会に付託された案件を審査しました。ここでは主な質疑を掲載します。

総務産業常任委員会　主な質疑

議案第57号　債権の放棄（水道料金債権）

水道料金未納付者の死亡等に伴い、納付が見込めないと判断された債権の放棄について、議会の議決を求めるものです。

水道料金未払いには厳しい対応を

問 債権放棄には高額な案件や、20年以上経過しているものが多数ありますが、徴収努力や給水停止等の措置を行いましたか。

答 平成20年当時は6ヵ月滞納が続くと給水停止の手続きとなり、その結果8～9ヵ月分の未収金が残りました。当時は命の水との認識が強く、行政も今ほど厳格に処分できませんでした。

問 支払いをしている市民との公平性を確保するための未収金初期対応、徴収体制の強化策について問います。

答 現在は2ヵ月の未収で給水停止を行っています。悪質なものには厳しく対応し、1ヵ月の未納であっても給水停止を実施しています。



公平な料金徴収へ

教育厚生常任委員会　主な質疑

請願第3号　教職員の欠員を速やかに解消する施策の実行および教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求める請願書

子どもたちの豊かな学びを保障するため35人学級の導入等が進む一方、全国的にも、また県内でも教員不足等があります。この不足等を解消するための施策の実行、教職員定数改善計画の策定・実施、および国の教育予算の拡充を求めるものです。

教員不足解消と教育予算の拡充を

問 市内の小中学校における教職員の欠員状況と35人以下学級の現状を問います。

答 現在欠員はありません。国の制度に加え県の先行措置により、市内小中学校で35人以下学級が編制されています。

問 過度な要求を行う保護者に対し、PTAや学校とどう連携し対応・予防を進めますか。

答 保護者と教職員の語る会や講演会を通じ相互理解を深めています。個別対応は困難ですが、日常の連携強化や連絡ツールの活用等による周知啓発で過度な要求の抑止に努めます。

問 教員採用倍率が低下する中、将来教員を目指したくなる環境づくりにどう取り組みますか。

答 現場・保護者・行政が一体となり、周知啓発を含め魅力ある学校環境の構築に取り組んでいきます。

請願を採択しました

志摩市ＰＴＡ連合会ほかから４件の請願書が提出され、すべて採択しました。

〇子どもの貧困対策の推進と就学・修学支援に関わる制度の継続・拡充を求める請願書

〇教職員の欠員を速やかに解消する施策の実行および教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求める請願書

〇防災対策の充実を求める請願書

〇義務教育費国庫負担制度の充実を求める請願書

※審査を付託された教育厚生常任委員会での採択を受け、同委員会委員長より発議第２号～第５号として同意見書が提出され、すべて可決しました。意見書は後日、政府・各関係機関に提出しました。

【ひとくち解説】
請願（せいがん）とは、住民が国会や地方議会に対し、「〇〇してほしい」と文書によって希望を伝えるものです。提出する議会の紹介議員が必要となるなど、要件が定められています。

人事

適任と認めた人権擁護委員および公平委員会委員は次の方々です。

※敬称略

●人権擁護委員
石井（いしい）　恵美子（えみこ）

●公平委員会委員
山口（やまぐち）　斉（ひとし）

令和8年熊本地震の義援金について

このたびの令和8年熊本地震により被災された皆さまに謹んでお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。

志摩市議会では、九州市議会議長会を通じて、義援金を送金いたしました。

常任委員会レポート

総務産業常任委員会

令和８年７月２９日、県建設業協会志摩支部・志摩建設事業協同組合の皆さんと、建設業の現状と展望について意見交換を行いました。資材・労務費の高騰、災害時の対応や行政との連携について話し合いました。



建設業関係団体との意見交換会

教育厚生常任委員会

本市の子育て支援の現状を調査するため、令和８年８月１９日に子育て支援センター、８月２７日に放課後児童クラブを視察しました。各施設の運営状況や利用実態、現場が抱える課題について確認しました。



子育て支援センター等の施設・運営状況を視察



議会を深掘り！

議会の会議ってどんなものがあるの？



【知っているようで知らない、市議会の仕組みを一部ご紹介します。】

志摩市議会では、３月・６月・９月・１２月と決まった月に開いている定例会や、必要に応じて開く臨時会、各分野別に案件の審査を行うため開く委員会等、様々な会議が行われています。このほかに、議会を円滑に運営するため、各種会議を行っています。今回はその一部をご紹介します。

- **全員協議会**　全議員が集まり、市から重要施策等の説明を受け、質疑や協議を行います。
- **議員総会**　議会を円滑に動かすためのルール確認や、議員同士の意見交換等を行います。
- **会派代表者会議**　各会派の代表が集まり、議会の運営方針や重要課題について話し合います。
- **正副委員長会議**　各委員会の正副委員長が集まり、委員会運営の協議や情報共有を行います。



【ひとくち解説】　会派とは、政策や考え方等が近い議員がつくる団体です。なお、志摩市議会では所属議員が１人の場合も、会派とみなしています。

議案の審議結果一覧



各議案書・資料等
はこちらから

● 全会一致で可決した議案等

※誌面の都合上、議案名が省略されることがあります。

区分	議案名	
条例	改正	
	議案第55号	認可地縁団体の印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正
予算	補正予算	
	議案第49号	令和8年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
	議案第50号	令和8年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
	議案第51号	令和8年度介護保険特別会計補正予算(第2号)
	議案第52号	令和8年度下水道事業会計補正予算(第1号)
決算	議案第53号	令和7年度水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定
	議案第54号	令和7年度下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定
	認定第1号	令和7年度一般会計歳入歳出決算認定
	認定第2号	令和7年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定
	認定第3号	令和7年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定
	認定第4号	令和7年度介護保険特別会計歳入歳出決算認定
	認定第6号	令和7年度国民健康保険病院事業会計決算認定
請願	請願第3号	教職員の欠員を速やかに解消する施策の実行および教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求める請願書
	請願第4号	防災対策の充実を求める請願書
	請願第5号	義務教育費国庫負担制度の充実を求める請願書
発議	発議第3号	「教職員の欠員を速やかに解消する施策の実行および教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充」を求める意見書
	発議第4号	「防災対策の充実」を求める意見書
	発議第5号	「義務教育費国庫負担制度の充実」を求める意見書
その他	報告第5号	令和7年度一般会計継続費の精算報告
	報告第6号	令和7年度下水道事業会計継続費の精算報告
	報告第7号	健全化判断比率
	報告第8号	資金不足比率(水道事業会計)
	報告第9号	資金不足比率(下水道事業会計)
	報告第10号	資金不足比率(病院事業会計)
	報告第11号	専決処分の報告(損害賠償の額を定めること)

● 全会一致で可決した議案等

※誌面の都合上、議案名が省略されることがあります。

区分	議案名
その他	諮問第3号　人権擁護委員の推薦につき意見を求めること
	同意第15号　公平委員会委員の選任
	議案第56号　債権の放棄（住宅新築資金等貸付債権）
	議案第57号　債権の放棄（水道料金債権）
	議案第58号　工事請負契約の変更（令和7・8年度 磯部地域福祉センター改修工事（建築工事））
	議案第59号　物品購入契約の締結（排水ポンプ車）

● 賛否が分かれた議案と審議結果

（付託委員会）　予…予算決算常任委員会、教…教育厚生常任委員会
※濱口卓議長は表決に加わりません。【○：賛成　×：反対　欠：欠席】

区分	議案名	委員会付託	西井 秀太	濵村 昭雄	中野 浩一	山川 楠人	堀江しおん	濵野 由人	松井 研二	森 光子	山本 桂史	下村 卓也	井上 幹夫	前田 俊基	渡辺友里夏	山下 弘	小河 光昭	賛成	反対	結果	討論
予算	議案第48号 令和8年度一般会計補正予算（第3号）	予	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	×	○	欠	12	1	可決	あり
決算	認定第5号 令和7年度住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定	予	○	○	○	○	○	欠	○	×	○	○	○	○	○	○	欠	12	1	認定	なし
請願	請願第2号 子どもの貧困対策の推進と就学・修学支援に関わる制度の継続・拡充を求める請願書	教	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	×	○	欠	12	1	採択	あり
発議	発議第2号 「子どもの貧困対策の推進と就学・修学支援に関わる制度の継続・拡充」を求める意見書	なし	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	×	○	欠	12	1	可決	なし

本会議での**討論**

議案第48号　令和8年度一般会計補正予算（第3号）

令和8年度に市が行う、事業全般にかかわるお金を管理するための、独立した会計のことです。

×反対　**渡辺　友里夏　議員**

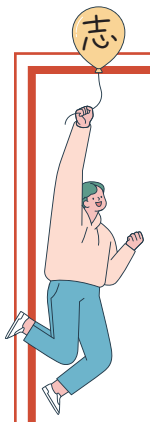
金融機関の出張所を市役所内に整備する本庁舎改修事業は、設計費576万9千円に加え、工事費1832万6千円、総額約2409万円となります。市民の利便性は理解しますが、これほどの費用を投じる必要性・効果・優先度には疑問があります。限られた財源は、より必要性の高い市民サービスに活用すべきと考え、反対します。

請願第2号　子どもの貧困対策の推進と就学・修学支援に関わる制度の継続・拡充を求める請願書

子どもの学力格差・教育格差を生むことなどがないよう、就学・修学支援制度の継続・拡充を求めるものです。

×反対　**渡辺　友里夏　議員**

子どもの貧困対策等の重要性を否定するものではありません。しかし、毎年提出される請願であるからこそ、前年から何が変わったのか、国の制度や市の現状を踏まえ、今何が課題なのかを確認した上で提出されるべきです。請願を出すこと自体が目的になってはいけないと思います。以上の理由から、今回の採択には反対します。



一般質問　市政のここを聞く！



一般質問とは、議員が議案とは関係なく市政全般について、市長の考えや意見を求め、事情をただし、議員や市民の意見などを述べることをいい、定例会でのみ行われます。

各議員が行った主な質問、答弁の要旨を掲載します。

一　般　質　問　一　覧

質問順	議員名	質 問 事 項
1	堀江しおん	・人口減少下における都市機能の再編と移動手段について
2	中野　浩一	・鳥獣害を「負の遺産」から「無限の資源」へ変える知恵と工夫について ・デジタル市勢要覧を契機とした行政ＤＸの推進と窓口サービスの向上について
3	松井　研二	・「観光立市・志摩」の実現に向けた持続可能な観光戦略と地域経済の好循環について
4	小河　光昭	・人口減少対策について ・震災時における仮設住宅設置場所及び人工芝公園について
5	下村　卓也	・目的税について ・アプリを使ったサービスについて ・開庁時間の変更について
6	濵村　昭雄	・ＡＥＤ配置状況について
7	井上　幹夫	・大規模震災の被害想定と対応について
8	森　光子	・国民健康保険事業の運営について ・クーリングシェルター（指定暑熱避難施設）について ・空調設備について ・防災対策について
9	渡辺　友里夏	・８０５０問題　早い段階での支援について ・投票しやすい環境づくりについて ・アピアランスケア、がん患者支援から「外見の変化によって社会生活に困難を感じる人への支援」へ広げることについて
10	西井　秀太	・大規模災害における情報の取り扱いと、物資・ボランティアの受け入れについて

お手持ちのスマートフォン等で二次元コードを読み取ると、各議員の質問をYouTube 動画で視聴できます。
また、YouTube「志摩市議会」チャンネルからも視聴できます。

各動画はこちらから

YouTube

令和８年８月１５日発行の「しまし議会だより第８７号」において、ｐ６一般質問一覧山本桂史議員の質問事項に誤りがありました。お詫びして、訂正いたします。
詳細は市ホームページをご確認ください。



ほりえ
堀江しおん
議員

新たな都市計画 暮らしはどうなる

YouTube

問 都市計画マスタープランの改定と立地適正化計画の策定を同時に進める理由は何ですか。

答 建設部長　前者はまちづくりの基本方針、後者は具体策を示す計画です。両計画を連動させ、施設の配置と日々の移動手段を一体で考えることが重要だと考えています。

問 生活拠点を決める際、どんな条件を優先しますか。



暮らし続けられるまちへ

答 建設部長　まず重視すべきは、市民の皆さんの命と暮らしを守ること、すなわち「災害リスクの低減」だと考えています。
　条件が整わない拠点では、移動手段によって生活機能を補い合う仕組みも必要だと考えています。

問 住民の生活圏や地域への愛着を、拠点や地区の役割にどう反映しますか。

答 建設部長　アンケートで買物や通院の動線を分析し、地域別ワークショップで住民の思いをくみ取りたいと考えています。地域の特色を把握し、地域別の方針に反映することを目指します。

問 拠点と移動手段がかみ合わない場合の対応を問います。

答 政策推進部長　拠点の将来像と移動の利便性等を踏まえ、都市計画と交通の担当部局で調整したいと考えています。コミュニティ交通の見直しも視野に入れていきます。

問 市民が暮らしに必要な機能につながる状態を、どのように確保していきますか。

答 政策推進部長　都市機能の配置と移動手段が一体で機能することが必要です。市民の意見を交通施策に反映したいと考えています。

答 建設部長　地域への愛着や日々の営みを大切に受け止め、サービスを届ける仕組みや移動手段を確保して「都市機能とつながる状態」をつくることが本市の責任だと考えています。



なかの　こういち
中野　浩一
議員

志摩市の持続可能な未来を描く

YouTube

ジビエの魅力ある活用

問 捕獲個体の利活用率は約10％と大多数が処分されています。革製品等丸ごと資源化する動きもある中、観光資源や特産品とジビエを掛け合わせた商品や魅力づくりの見解を問います。

答 水産農林部長　資源としての活用は重要であり、現在はふるさと納税の返礼品やペット用ジャーキーの販売等を行っています。今後は民間事業者のノウハウ活用や観光事業者等と連携し、特産品と掛け合わせた商品開発の可能性についてしっかりと調査研究を進めていきたいと考えています。

市民のための行政ＤＸ

問 市民サービスへの還元として、書かない窓口やワンストップサービスの実施状況と、今後の福祉窓口への展開に向けたロードマップ等を問います。

答 政策推進部長　市民課の書かない窓口は満足度80％と大変好評です。福祉窓口への拡充は重要課題と認識しつつ課題を丁寧に整理し調査研究を進めたいと考えています。２０３０年までに基盤構築を進め、２０３５年までに書かない窓口等の拡充やオンライン化を進め、生み出した時間を市民との対話につなげていきます。

問 行政ＤＸを最優先課題としてどうけん引していくか見解を問います。

答 市長　人口減少による物理的距離の広がりを埋めるのはテクノロジーしかありません。行政内でＤＸを活用して効率化し、そこで作った時間を市民の皆さんに寄り添った、人にしかできない温かいサービスの提供に置き換えていくことが重要であり、私が先頭に立って強いリーダーシップで強力に推進していきたいと考えています。



デジタル市勢要覧



まつい　けんじ
松井 研二
議員

灯台100年の誇りを志摩の宝に

YouTube

問 大王埼灯台100周年事業を市の重点事業とし、全庁的に取り組む考えはありますか。

答 **観光経済部長**　本事業を令和9年度の重点分野の中核と位置づけ、全庁一丸となって推進していきます。

地域の皆さんや関係機関による「大王埼灯台100周年記念事業実行委員会」の早急な立ち上げに向け、万全のサポートを行い、その住民主体の活動を市がしっかり伴走支援します。

市民や事業者の皆さんとも一体となり、本記念事業の成功にとどまらず、子どもたちの教育やまちへの愛着と誇りを育むなど、未来へつなぐ財産づくりに向けて全力で取り組んでいきます。

問 実行委員会や庁内推進体制の立ち上げ時期、および本格的な準備をスタートさせるスケジュール感について市の考えを問います。

答 **観光経済部長**　令和9年の本番を成功へ導くためには、地域の皆さんが主体となる「大王埼灯台100周年記念事業実行委員会」が早期に立ち上がり、スピード感を持って動き出すことが重要であると認識しています。

現在、地域の皆さんや関係機関との事前調整を進めているところであり、令和8年をめどに実行委員会が設立され体制が稼働できるよう、市としてもサポートをしていく方針です。

これを起点とし、令和9年度の予算編成等とも連動させながら、令和9年の年明け以降、実行委員会と一体となって具体的な準備を進めていきたいと考えています。



地域の誇りを、これからの世代へ



おがわ　てるあき
小河 光昭
議員

人口減少を前提に賢く縮む手法

YouTube

問 令和8年3月に見直した将来人口展望では、2070年志摩市の人口約2万5000人を目標としていますが、現状、合計特殊出生率は大幅減、社会減は大幅増です。目標達成の根拠はありますか。

答 **政策推進部長**　新たな取り組みに向けて、協議や検討を具体的に進めています。

将来人口展望の実現に向け、自然減対策、社会減対策、総合的な対策の推進にスピード感を持って取り組んでいきたいと考えています。

問 令和7年の出生数は何人ですか。

答 **政策推進部長**　令和7年の出生数は120人となっています。

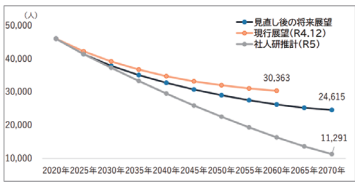
問 社会減が増加している要因を把握していますか。

答 **政策推進部長**　20代の転出の増加、転入の減少といった動向の変化が大きく影響しています。

問 人口減少に歯止めがかからない現状で、考え方を変えた取り組み、人口減少を前提に、地域の行政や公共サービスのあり方を見直す賢く縮む手法「スマートシュリンク」に対する市の考えを問います。

答 **政策推進部長**　地域の特性に応じて都市機能やインフラを適正に再配置、集約し、市民生活の質と地域の持続可能性を維持向上させる、賢い選択と集中の考え方だと認識しています。

志摩市都市計画マスタープランの策定においてスマートシュリンクの視点を取り入れながら、都市空間全体の最適化に向けた検討を深めたいと考えています。



将来人口に関する展望
（出典：志摩市人口ビジョンにおける「人口の将来展望」の見直しについて）

被災者の生活を守る

問 市が想定している仮設住宅設置場所は何カ所ありますか。また、何世帯の受け入れが可能ですか。

答 **建設部長**　市内18カ所で、約1300戸が建設できる面積を確保できるよう選定しています。



しもむら　たくや
下村 卓也 議員

宿泊税導入に向けた現在地

YouTube

宿泊税導入の準備状況

問 鳥羽市は既に開始しています。このスピード感のなさを市長はどのように感じていますか。

答 市長　部局横断的に取り組んでおり、このスピード感は、最速であると感じています。

問 宿泊税導入に向けた取り組み状況を問います。

答 総務部長　令和7年度中に事業者説明会を2回開催し、令和8年5月に津地方検察庁へ条例案および条例施行規則案を協議依頼、令和8年7月8日付けで同条例案および施行規則案について、「特段の意見はない」旨の通知を受領し、協議を終了しました。今後は、総務省との本協議を視野に、実務レベルでの調整を進めるとともに、令和8年第4回定例会における宿泊税条例の制定に向け、準備を進めていきます。

問 導入開始予定はいつですか。

答 総務部長　早くとも令和10年4月1日からの導入を想定し、準備を進めていきたいと考えています。

問 新たな財源として期待できる宿泊税はどれくらいを想定していますか。

答 総務部長　年間おおむね2億6500万円を見込んでいます。

問 使途計画はどのようなものを想定していますか。

答 観光経済部長　新規性や効果性の高い事業を透明性の高いプロセスで選定・実行することで、事業者の皆さんが納得感と確かな導入効果を実感できる、実効性の高い制度を構築していきます。

開庁時間の変更

問 開庁時間の変更により、会計年度任用職員の年収に不利益は生じませんか。

答 総務部長　勤務時間の減少に伴う基本報酬の減少は生じることとなりますが、職員全体の総合的な処遇水準や働きやすさの維持・向上に努めていきたいと考えています。



会計年度任用職員も働く現場



はまむら　あきお
濵村 昭雄 議員

事故防げ 海岸周辺にAED増設

YouTube

問 全国的に水難事故が多い中、市でも海岸エリアにおいて、サーフィン中や海水浴客による水難事故が発生している現状です。令和8年の水難事故件数を問います。

答 市長　本市の恵まれた海岸は、サーファー等多くの人々を引きつける魅力があり、貴重な地域資源です。一方で市民や訪れる皆さんの命と安全を守ること、魅力あるマリンアクティビティの推進と安全安心な環境の確保に向けた取り組みは大変重要であると認識しています。今後も誰もが安心できる環境整備に向け総合的な安全対策の強化に取り組んでいきます。

答 消防本部消防長　9月1日現在における水難事故は12件です。

問 心臓マッサージとAEDを使用した場合の救命率の差を問います。

答 消防本部消防長　迅速に心肺蘇生法を実施した場合の1カ月後の生存率はおよそ15・3％、AEDを併用した場合の1カ月後の生存率は、およそ53・6％に達します。

問 市内海岸主要部におけるAED設置台数を問います。

答 観光経済部長　市内主要海岸周辺においては、合計10台のAEDを設置しています。

問 本市の地域特性に合わせ、海岸周辺への24時間利用可能なAED増設が必要と考えますが市の見解を問います。

答 観光経済部長　24時間利用可能なAEDの屋外常設には塩害や風雨対策、防犯等の課題がありますす。関係機関と連携し、効果的かつ持続可能な配置方法の検討を進めます。



市内海岸部で唯一、
24時間利用できるAED



井上（いのうえ） 幹夫（みきお） 議員

スムーズな救援物資の調達を

YouTube

橋に架かる送水管は

問 主要道路に架かる橋とともに設置されている送水管が数ヵ所ありますが、その強度について見解を問います。

答 上下水道部長　耐震化事業の一例ですが、深谷水道には、送水管が単独の水管橋として横断しています。その水管橋は、直下型地震や巨大海溝型地震等、最大級の地震動でも致命的な損傷を回避できることを条件とし、平成20年度に耐震調査を行い、耐震強度の不足している箇所を平成21年度に耐震工事済みです。南海トラフ地震発生時でも、災害による破損等のリスクは極めて低いものと想定しています。



深谷水道に架かる送水管

救援物資の輸送方法は

問 深谷大橋が通行できなくなった場合の救援物資の輸送方法の計画を問います。

答 危機管理統括監　三重県道路啓開計画に基づいて、道路障害物の撤去等が実施されます。当該計画では、陸路だけではなく、空路および海路を活用したアクセスルートの確保に努める旨が記載されています。



森（もり） 光子（みつこ） 議員

高すぎる国保料の負担軽減を

YouTube

県統一化で値上げに

問 国民健康保険料の支払いがされずに医療費10割窓口負担になっている世帯は、この3年間で何世帯ありますか。

答 健康福祉部長　長期の滞納により一旦、10割負担の特別療養費の対象となる世帯は、令和6年度は38世帯、令和7年度は53世帯、令和8年度は148世帯です。ただし18歳未満は除外されます。

問 国民健康保険料の県統一化に向けて、値上げが令和11年まで毎年計画されています。物価高騰と重なって生活が困窮している状況をどのように考えますか。

答 健康福祉部長　県は令和11年度を目標として標準保険料率への統一を目指しており、本市としても激変緩和を図りながら段階的な見直しを進めています。低所得者世帯に対する法定軽減措置を漏れなく適用し、負担緩和に努めるとともに、特別な事情により納付が困難となった人には個別に丁寧な対応に努めます。



安心して医療が受けられる国保制度に

子ども均等割全額減を

問 国保被保険者の中間層の人や子育て世代の人は本当に大変です。加入する保険の種類で不公平な負担が課せられています。子育て世帯負担軽減をぜひ本市でも実現する考えはありませんか。

答 市長　国保の構造問題解消については、全国市長会でも声を上げています。本市では18歳までの子どもたちのうち、国保加入者は14・4％です。一般財源を投入する場合は、すべての市民の皆さんが、いかに平等に享受できるかが重要だと思っています。公平性を担保した上で、すべての子どもたちにどういった支援ができるかという軸が重要だと思っています。



わたなべ　ゆりか
渡辺　友里夏
議員

若者を孤立させない支援

YouTube

問 運営主体が異なるため、高校生の状況を市が把握することが困難です。
　高校中退等で若者が孤立し、８０５０問題に至ることを防ぐため、早期支援の仕組みづくりが重要です。
　支援から切れてしまう若者の把握と、高校との連携を問います。

答 **教育部長**　進学先高校へ丁寧な引き継ぎを行い、高校中退等の転機には、本人の同意を前提に安心できる情報の提供に努めます。

支援の空白を埋める

問 市外や私立の高校でも市が把握できますか。

答 **教育長**　具体的な仕組みはありませんが、すべての高校と連携し、入学時の情報共有や変化があった際の連絡体制は整えています。

問 社会との接点を失わないための、教育・福祉の垣根を越えた仕組みを問います。

答 **福祉事務所長**　居場所づくりのすだちカフェを通じ、福祉関係機関との連携や、就労では専門機関につなぐ等、教育・福祉・就労が連携した支援に取り組んでいきます。

問 孤立している若者に「外に出ませんか」の呼びかけだけでなく、合宿免許の費用助成等の資格取得を目指すような支援を検討できませんか。

答 **福祉事務所長**　環境の変化は自信回復の一助になり得る一方、心理的・身体的負担等の課題もあります。
　本人に合わせた個別相談や地域での居場所づくりを軸に支援を行っていきます。

一票を生む仕掛け

問 有権者が投票しやすい環境を積極的につくる必要があります。
　商業施設での期日前投票を試験的に実施できませんか。

答 **選挙管理委員会書記長**　現在行っている移動期日前投票所の巡回ルートの中に商業施設を組み込むなど、試験的な設置運用を検討していきたいと考えます。





にしい　しゅうた
西井　秀太
議員

災害時情報発信と各種支援体制は

YouTube

公式ＳＮＳ等の運用

問 災害時における公式ＳＮＳやホームページの運用を問います。

答 **政策推進部長**　ＬＩＮＥは避難情報等の緊急情報を受信設定にかかわらず登録者全員へ一斉配信します。
　公式インスタグラムは高い発信力を生かし、避難所開設やライフライン復旧状況等を迅速に発信します。
　Ｘやフェイスブックは市長アカウント等から迅速に情報共有を行います。
　また、公式ホームページは災害発生時にトップページへ専用バナーを設置し、必要な情報を１ページに集約して発信します。

避難所と各種支援体制

問 避難所運営マニュアルの整備状況と通信手段の確保について問います。

答 **危機管理統括監**　津波避難対象地域における指定避難所でのマニュアル作成と訓練を進めています。また、通信網遮断に備え、非常用携帯電話を衛星通信対応機種へ順次更新し通信を確保します。

問 企業や個人からの支援物資の受け入れ体制を問います。

答 **危機管理統括監**　支援物資は物資拠点で、生鮮食品等を除き、ニーズと合致するものを受け入れます。また、物資の不足の状況は公式ホームページやＳＮＳ等で速やかに発信します。

問 災害ボランティアの受け入れ判断や事前登録の仕組みを問います。

答 **福祉事務所長**　災害ボランティアセンター開設後、被災者のニーズ調査とボランティア受け入れの準備を進め、同時に事前登録を開始したいと考えています。ニーズを一定把握し、受け入れ体制が整った段階でボランティアの募集を開始します。


家庭でも備えや避難経路の確認を

こんにちは vol.69
志摩びとさん



志摩のやさしさに包まれて、家族と歩んだ舞の道

西村（にしむら） 洋子（ようこ）さん

写真・左から3番目

● 志摩市に住み始めて、どれくらいになりますか。

夫が志摩観光ホテルに勤務していた際に結婚し、志摩市で暮らし始めて半世紀になります。自宅で日本舞踊を教え始め、娘たちや近所の子どもたちとともに歩んできました。

公民館から始まった勉強会も今年で４６回目。阿児アリーナの恵まれた環境で、今では孫たちも舞台に立ちます。１２月１３日の発表会へ、温かい応援をお願いいたします。

● 志摩市に対して、どのようなイメージを持っていますか。

東京から電車で戻り、志摩に入ると何とも言えぬ心穏やかな空気を感じます。緑と海に囲まれた自然は体を癒やし、住む人々の温かさや、物事をやんわり受け入れてくれるやさしさに救われてきました。古典舞踊を続けられたのも、志摩市の皆さんの温かい応援があったからです。深く感謝しています。

● 家族の思い出の場所を教えてください。

横山展望台から望むリアス海岸は、時間や天気で多彩な表情を見せ、いつでも感動を与えてくれます。家族の健康と日々の幸せに感謝し、毎年お正月にあの階段の頂上で記念写真を撮るのがわが家の恒例です。

● 家族の中で大事にしているルールを教えてください。

互いの意見を尊重し、協力し合うことがルールです。家庭内であっても遠慮しすぎず、考えを言葉にして伝え合うことを大切にしています。お互いの価値観を認め合い、困ったときは助け合うことで、家族みんなが心から落ち着ける温かい場所を築いています。

● 改めて感じる「志摩の魅力」を教えてください。

道端の草花や小鳥の声、シーグラスが拾える美しい海等、身近な自然に癒やされます。テーマパークや充実した宿泊施設もあり、私たち家族も心から楽しんでいます。ぜひ世界中の皆さんに遊びに来ていただきたいです。

令和８年第４回定例会日程（予定）

１２月　２日	本会議
７・８・９日	本会議（一般質問）
１４日	総務産業常任委員会
１５日	教育厚生常任委員会
１６日	予算決算常任委員会
２２日	本会議

市役所６階議場・委員会室にて午前９時から
※都合により変更になる場合があります。
※本会議はだれでも自由に傍聴でき、委員会は各委員長の許可により傍聴できます。
※詳しい日程は、市ホームページをご確認ください。

もっと身近な『議会だより』へ。
あなたの声をお聴かせください！

あなたの声が次の誌面をつくります。
良かった点も気になる点も、率直なご意見をお待ちしています！

■議会広報特別委員会■

委員長　堀江しおん　副委員長　井上幹夫
委　員　西井秀太　濵村昭雄　中野浩一
　　松井研二　小河光昭

「しまし議会だより」はボランティア団体のご協力で、視覚障がいのある人に音訳（朗読）による広報をお届けしています。

発行／志摩市議会　発行責任者／議長　濱口 卓　編集／議会広報特別委員会　〒517-0592 三重県志摩市阿児町鵜方3098番地22
TEL 0599-44-0250　FAX 0599-44-5265　E-mail gikai@city.shima.lg.jp